愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢一ヶ月分六錢三ヶ月分拾八錢半年分參拾六錢壹ヶ年分七拾貳錢全國無逓送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割増
廣告料五號活字一行四拾錢
發行所　東京市麹町區下二番町三十七番地　大日本女學會内　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社說

割烹の四大必要

近年飲食物の調理につき、漸く世人の注意を惹き、料理の著書も種々刊行され、其他新聞に雜誌に、料理に關する記事の多きを加へたるは余輩の大に喜ぶ所なり。抑も飲食物の調理は一家の主婦たる者の最も大切なる任務にして、主婦が是に注意すると否とは一家の消長に大關係ある所なり。さて料理の人世に大切なる、第一人類の性質上より、第二衞生上より、第三經濟上より、第四一家の和樂を保つ上より、孰れも必要缺くべからず。今此四點に就いて左に大其要を述べん。

山林に入ッて果物を採り、河海に出でゝ魚介をあさり、以て其まゝ食料に供する野蠻蒙昧の時代を過ぎて、多少人文の進歩せる社會に到れば、必ずや食物に料理の手數を要するに至る、即ち進歩せる人類は獸類などの如く、外見の醜き物、惡臭を放つ物、味ひなき物は如何に滋養ある食物なりとも之を食するを得ず。されば其色を美にし、其形を整へ、惡臭を去り、香氣を付し、鹽梅を加減する等の手數を必要とす。此手數を經ざれば軀内に攝取せしむると能はざるなり。加之毎日の三食同一の料理なるときは、忽ち飽きを來すべし、是故に其料理を種々に變更すべき必要もあり、是れ人類は其性質上料理の必要を感ずる要點なり。

人は獸類などよりも胃の消化力弱く獸類の如く腐敗に傾きし物、魚骨の如き硬き物を食すると能はず。故に消化し易き樣、食料を切り、たゝき、煮炙等の料理を經ざるべかず。殊に老人兒童病人の食物は一層消化の上に注意を要するなり。又一層仔細に注意を行屆かしめんとするには、家族の勞逸の度に由りて、飲食物に濃淡ある樣取賄はざるべからず、即ち運動の少き人に餘り滋養に富める食物を與ふるときは、其滋養物が効を爲さゞるのみならず、却つて身軀中に沈滯して害となるべし、例へば蛋白質の沈滯は痛風等の關節病を起し、脂肪の停滯は肥滿病となるべし。是れ衞生上料理の必要なる要點なり。（未完）

家庭と學校とに就て（承前）

女子高等師範學校敎授　安井てつ子

◎學校の本質　學校と云ふものは唯稽古をして智識を得る場所と云ふやうな手輕なものではない、家庭と社會との中間に在つて其連絡を付けるものである。言葉をかへて云へば子供と大人との間の聯絡を付けて行くものである。學校は學校として家庭とまるで別になつて居るものではなく、又社會と別にあるものでもない。學校ではどう云ふ事をするかと云ふに、家庭だけては出來ない樣な事を授けて補うて往くのである。然し學校では親が子を愛する程生徒を愛する譯には往かぬものである、故に愛と云ふ事は家庭に存して居る、其愛を周圍の人に對して應用して行かねばならぬ。學校は他人の集りてあるから其中には互に好き嫌ひがあるが、其處が面白い處て、家庭では兄弟が喧嘩しても直に仲がよくなるが、他人の間ではさういかぬ處がある。然し友達の間は好嫌の人があつても、之は公平に交つて行かねばならぬ。如此事を學校では習ふのである。

◎有望なる生徒　學校では將來社會に出て役に立つ樣に準備せねばならぬ。勉强もよくし試驗もよく出來、席順は一番てあッても、之を以て必しも有望な生徒と云ふ事は出來ぬ。學校の優等生が一家を治めて往く主婦となッた場合に存外つまらない妻となり母となるものがある。そこて學生たるものがよく考へて置かねばならぬ事は、只試驗の時に役に立つ樣に物を覺えると云ふ事よりも、社會に出て役に立つ樣に物を覺ねばならぬ事である。否覺えるよりも考へるのが尚大切である。本當にかう云ふ事に出遇つたらどうするかと云ふ事を、自分の頭でよく考へねばならぬ。一家を治むる時に、子供を教育するにはどう云ふ方法を採つたらよいか、どう云ふ本を讀めば參考になるか、どう云ふ雜誌が有益であるかと云ふ樣なことに工夫をする人が、却つて價値のある生徒である。然るに學校の成績は優等な人であつて其一家を治むるに及んでは唯育兒等の事にのみ忙殺せられて以て母たるの能事了れりとなし、一雜誌だも之を繙くとをなさゞるものが往々ある。此の如き主婦によつて支配せらるゝ家庭は到底英米の家庭に及ぶべくもあらぬのである。又出席恒ならずして、氣儘に缺席するなどは將來不規律の習慣の基にして、宿題抔の期日を誤るは、將來約束を履行せざる不信用の性情を養成する原因にして此の如き習はしの人は何れも望み少き人々なり。

◉家庭と學校との聯絡　家に在つて兩親が子供を教育するのと、學校に於て教師が生徒を教育するのと同一精神であれば、兩者の聯絡は出來るのである。一例を擧ぐれば、作法の如きも、學校に於けると、家に在る時と、餘所行きと、三通りになりをる事少からず、是等が聯絡を妨ぐる大原因なり。英國の女學校には一として作法を敎ふる處なし。然も其生徒は淑女として決して其品位を損すべき動作をなすものはない。之は畢竟學校及び家庭の躾方の嚴正なるによるとなれども、亦生徒たるもの、考のつけ方がよいからである。要するに深い理窟ばかりの學問よりも習つた事を實地に應用するとが本當の學問である。生徒がさういふ考へてあれば學校と家庭との聯絡も容易に出來る。（完）

會長公爵夫人岩倉久子筆

思往事（故中島歌子刀自追悼歌）

會長　公爵夫人　岩倉久子
ありしよのおもかけはかりのこしおきて
　ちりしこと葉のはなそこひしき

理事　公爵夫人　近衞貞子
つき日こそ遠さかりけれ雪折の
　こゑなほいまにのこりけるかな

理事　侯爵夫人　鍋島榮子
つゆのまもわすれぬ君かかたみこそ
　たゝ一むらの水くきのあと

會員　侯爵母堂　前田朗子
まとひしとおもひなからもはかなくて
　過にし夢のさめずも有かな

評議員　下田歌子
秋萩の露とふ月をあはれとて
　ねねそ明けぬるよひもありしを

柳原愛子
言の葉のむれに遊ひしそのかけも
　こてふの夢といまはなりにき

三宅龍子
ありし世を忍ふまとゐの歌むしろ
　うれしきものゝかなしかりけり

園祥子
有しよを今はたゝさらに忍ふかな
　のこることの葉みるにつけても

小池道子
うとくのみ過しけるまに現身の
　世にさへとはへたてつるかな

北島いと子
うつくしく書たるきみかふての道
　くりかへしてはなほしのひつゝ

平田三枝
ありしよをしのふ袂につゆ散りて
　いくらの人の袖ぬらすらむ

吉田愛子
世に殘る言葉の花のにほひにも
　ありしむかしのなつかしきかな

尾張濱主
もゝあまりちとせにこえて長壽樂
　君にさゝけてまひやしつらむ

評議員　中山幸子
折にふれて
あたしのゝ露ふみわけてものゝふの
　心もいさむあきにこそあれ
ふねと舟たゝかふさまのいさましく
　わかひのもとのかちときをあけ

電話番町壹千三百三十番

◎本號には附錄として靜岡縣支部幹事會の寫眞を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎金錢の使用

某夫人談話

◉二種の人　日本に多くの人が居りましても、之を區別せば金錢を極めて貴ぶ人と金錢を極めて賤む人との二種になります。言ひ換へれば、金錢を溜める人と金錢を費ふ人とであります。日本は從來武士敎育が盛んであッて、武士は金を卑むを以て貴き事と思ひ、金錢上の事は談話に上す事も避ける程であッて、金を忌み嫌ふが如き風習が生じました。特に儒敎の盛んなるに從ひ淸貧に安んずるを以て廉潔の士の如く心得て、子弟を敎育するにも其方針でありました。此習慣が今日まで傳はッて、第一種の人即ち金錢を極めて卑しむ人を作ッたのです。之に反して昔の商人氣質では、金錢を多く得たものが多くの特權を得る譯でしたから、金錢さへあれば立身出世が出來るといふ觀念がつよく、金錢を神佛の如く尊び、金錢の外貴重のものなしと思ひ一度手に入ッた金錢は容易に出さぬ習慣を生して此に他の一種の人即ち金錢を極めて貴ぶ人を生じたのです。此二種の人は共に極端であッて何れも金錢の何物たるを知らぬ人であると思ひます。

◉金錢は貴きものなり　金錢を得る事が人生最上の目的であると云ふてはありませぬ、人生の目的を完うせんが爲に金錢は貴いものであります。即ち金錢は其目的を達する手段として極めて貴いものであります。假りに金錢が得られぬとしたらどうでありませうか、第一衣食住が出來ますまい、從ッて身躰の健康を保つ事も出來ず、快樂を得る事も交際することも出來ず、倘進んで文明を開發し、社會に福祉を與ふる事も出來ませぬ。つまり壯麗な宮殿も廣大な工場も金錢によッて作られ、國力の維持も金錢に依ッて出來るものですから、誰も金錢の尊いと云ふ事を知らねばならぬです。英國邊では子供を仕立つるに當ッて、金錢の觀念は極めて嚴重で、親子の間柄でも之を麁末に扱はず一厘の事たりとも親から子に貸せば之を請求して取戻すと云ふやうな風で、日本人の眼から見れば甚だ冷酷なやうに見えますが金錢の貴重にして忽にならぬ事を敎へるよき敎訓です。日本人も子供の時代から金錢を大切にするやうに敎へる事は極めて必要です。

◉金錢は卑むべきものなり　金錢は人生の目的を達する手段であッて、其目的でない事は前に申した通りですが、世の中には目的と手段とを間違へて、金錢を貯へる事を以て人生終局の目的の如く心得て居るものがあります。かゝる人の手に在る金錢は頗る賤むべきものです。金錢を貯へる所以は、之に依ッて善事を爲さんか爲です、社會の福祉を增さんが爲です。窮厄せるものを助け、不幸な人を救はんが爲です。即ち金錢を貯ふる人は高尙なる精神を以て恩惠の主となるの覺悟がなくてはならぬです。只金を得たき慾念の爲に之を蓄積する時は、心樣偏狹となり、其行も野卑となり、仁愛の心は閉塞せられて、世に所謂る吝嗇に陷るものです。故にかゝる人の所持する金錢程卑いものはありませぬ。

◉金錢は適當に用るに由て貴し　つまり金錢は人の使用に供するもので、其用ゐ方によッて或は貴くもなり或は賤しくもなるものですが、兎角世の中の人は共に極端に走ッて、其中庸を得て金錢を適當に用ゐる事を知らぬ人が多いです。外國では一代で富巨萬を致すものがありますが、之をよく散じよく用ゐる事を知ッて居りますから、其人の品性は次第に高く、社會から非常な尊敬を受けて居ます。然るに日本では富者に德行の聞ゆるもの少く、多くは社會からは敵の如く怨まれ、壁を高くし堀を深くし巡査を雇ッて置かねば枕を高うして寢られぬと云ふ有樣です。是等は皆金錢を當然の道に用ゐるの法を知らぬからです。元來德性の美も金錢に關係することが多くて寬大と云ひ忠厚と云ひ信義と云ひ淸廉と云ふ倫理上の問題も、金錢を適當に用ゐるに由ッて得らるゝものですから、金錢を貯へるに當ッては初めの心懸が最も大切です。即ちよき方の考に向ッて金を貯ふれば高尙の人となれますが、惡き方面に向ッて金を貯ふれは卑しむべき人となるのです。故に人は先づ豫め金錢に對する觀念を能く定めて置いてさうして世を渡らねばならぬ事と思ひます。やんごとなき御方のみうたに

　もつ人の心によりてたからとも仇ともなるはこがねなりけり

◎婦人の職務

文學士　下田次郎

左の一篇は愛國婦人會麻布區講話會に於てものせられたる演說の大意なり。校閱を經たるにあらされはすべて文字の責は記者にあり。

◉昔は男女同等　ズット昔の事を申しまするると男子と女子とは餘り違ひがなかッたもので、殆ど同じやうなことをして居ッた。それで男と女との勝負は何で付けるかと云ふと、腕の力身躰の强い弱いに由ッて勝負が付くのでしたから、自然男子が主になッた。所が段々世が進むに從ッて腕力ばかりでは世は立たぬやうになッて來て、頭と云ふことが之に伴ッて來て、婦人も進んで敎育を受けるやうになつた。

◉婦人敎育は百年前に始る　今から百年前までは日本でも西洋でも婦人は家に居ッて仕事を執り、世の中の爲に盡すと云ふやうな大きな考はなく、唯家の中で裁縫とか料理とか或は子供の世話をする位が手一杯で世の中のことまで手が屆かなかッたのである。所が百年前に佛蘭西に革命か起ッて世の中の有機がすッかり變ッて人間は總て同じものである、何の人間にも一番貴い魂を有ッて居る、然らば人間に階級を付ける必要はないと云ふ說即ち自由平等と云ふ說が起ッて女子も男子と同じに仕事をしなければならぬ事になッた。

◉婦人の主張　それから世の中が進むにつれて器械が發明せられ、婦人が家でする仕事はすッかり取上られて仕舞ッた。そこで吾々婦人を何してくれるか、吾々に職業を與へよと云ふ聲が高くなッた。世の中には我家の財産で食ッて行ける人ばかりはなく、自分で日々の暮しを立て子供を養はなければならぬ人が多い。然樣な婦人が世の中に澤山出來て、何か職業を考へてせねばならぬ。内では仕事がないからして、外で職業をするといふとになッて、そこで工女と云ふものが出來た。

◉工女の待遇　工女は誠に氣の毒なものであッて朝から晩まで汗水流してやッて居る。それのみならず、寄宿なり何なり相當の取締がある所は結構であるが、多くの工女は非常に不幸な生活をして居る。そこで西洋では樂に暮して居る人々が集まッて、是等の工女に成べく仕事を樂に面白くさせる爲の慈善的會合が出來て居る。又乳呑兒を抱へて工場に通ふことは出來ぬから、それを預る所か出來て居る。朝預けて晩に受取ッて歸る、其間は乳母がついて乳を呑ませ、寢床が備へてあッて三歲四歲位の子供も預ける所がある。又小學校に行く子供でも父母が仕事に往き家が空であるから其間預る所がある。かやうな事は主に婦人の催して設立してある。

◉棄兒引取所　小兒預所の外に棄兒を引取る所があッて、方々に棄兒があるのを拾ッて育てるのである。それのみならず母があッても如何にも食ッて行けぬと云ふやうな場合に、其子を受取ッて母を乳母として一緒に引取ることもあり又子だけ引取ッて育てる所が巴里邊では澤山あッて、何時でも百人以上の乳兒が居る。でさう云ふやうな子供は何も身躰が惡いから、牛乳を呑ましたりして育てる。併し都會には長く置かない、大概一週位經つと田舍の小い孤兒院にどん〳〵送ッてやッて、田舍で立派な人間に育上げる組織である。

◉日本婦人の社會的活動　日本には右申す通りな事は少しも行はれて居ない。然し此等の仕事の性質は誠に善良な大切なもので、是非やらなければならぬ事であるが、之を始めるのは誰であらうか。政府は色々な仕事をせねばならぬので、やれない。そこで先立ッてさう云う事業を始めるのは婦人の責任て、是非是は婦人がやらねばならぬ事と思ふ。工女なとが一日働いて歸ッて來ても、誰も之に面白い話をする者もない濕た空氣の充ちた部屋に一生を暮さねばならぬ。若しさう云ふものに向ッて面白い會どもあッて、爲になる話や面白い音樂ども聞かし、種々の人と交際も出來るやうな會があッたならば、工女に取ッて非常な助になることと思ふ。是も婦人の一の仕事であると思ふ。

(完)

愛國婦人會神奈川支部會員表

郡市名	特別會員	通常會員	計
橫濱市	二八四	九八四	一、二六八
久良岐郡	四	四九	五三
橘樹郡	八一	一六六	二四七
都筑郡	五	一〇四	一〇九
三浦郡	二一三	二三〇	四四三
鎌倉郡	一八	一三四	一五二
高座郡	二五	二三四	二五九
中郡	三	二六三	二六六
足柄上郡	四	一二三	一二七
足柄下郡	八	一三六	一四四
愛甲郡	一四	一二六	一四〇
津久井郡	二	八三	八五
合計	六六二	二、六三二	三、二九二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎慈善事業について

評議員　棚橋絢子

左の一篇は愛國婦人會麻布區講話會に於てものせられたる演説の大意なり。校閲を經たるにあらされば文字の責はすべて記者にあり。

◎善事の勢力　凡そ物事は小い所から氣を注けねばなりませぬ。漢の照烈公が將に終らんとして其子を戒めた言葉に惡以レ小勿レ爲善以レ小勿レ不レ爲と斯う云ふことを言遺されましたが、誠に私は善い言葉だと思ひます。僅なちよッとした事でも惡いことは罷めよ、少しでも善いことならば十分にするが宜い。凡そ惡事でも善事でも其始めは僅な擧から擴がッて段々大きくなるもので、能く世間て惡事千里善事門を出てずと申しますが、決してさうてない。善いことでも世間に知れることに變りはありませぬ。善い事は其初に人に知れませぬが、善い事をすれば其精神が何處にか透るもので、遂には人か知つて來て、彼の人は慈善家であると褒めるやうになる。さうなると人も信用し自分も心持が快い、尚更善いことがしたくなッて、つまり大きくなるのであります。

◎小事の注意　現に愛國婦人會も此精神から出來て居る。半襟一つ儉約して、それが集まると大した高になッて、不幸な人を救ふのてある。極僅な事からして慈善事業は出來るもので、半襟ばかりてない、家庭に於て最も小な所に氣を注ければそれて大きな事が出來ます。つまり儉約と云ふことは小な事を愼むのであります。先づ第一に儉約せねばならぬのは水と紙てす。水は無代價てあッて無盡藏てすから、誰しも大切にしませぬが、たとひ有り餘るものでも、無益に使用せぬ心懸か緊要てす。此心懸かないものは、女でも出世が出來ませぬ。私共は小兒の時から之に注意して居りましたから多くの困難に遇うても幸によく凌ぐ事か出來たのだと思ひます。

◎會員に望む　元來人に施しをすると云ふには先づ以て自分が儉約せねばなりませぬ。幾等施さうと思ッても、自分が不幸てあッて、貧困に陷ッては人に施すことは出來ませぬ。僅着物一枚儉約したからと云ッて、大きな國家に何の關係があるものてないと御考になるか知れませぬが、決してさう云ふものてありませぬ。物は僅てもそれが何處にか影響を及して重大な力を持つものてあります。どうか愛國婦人會々員たる方は小い處に目を付けて、儉約の要義を解し、自分の幸福を得らるゝと同時に其幸福の僅な部分を他人にも分ち不幸な人々を救はれん事を希望致します。

◎美術の觀念に就て

本篇は女子美術學校に於ける尾崎市長の演說の大要なり文字の責は記者に在り。

美と云ふ事や美術と云ふ事には自分は從來局外者てあッて、且つ又女子の教育といふことにも餘り關係はない方てある。夫れ故假令からいふ席に臨んても何を御話すべきかについて、甚だ困るのてある。然るに佐藤博士の御言葉遂に默止しがたく、病餘の身を忘れて茲に臨んだ次第てある。されば自分の話す處のものは出鱈目なことなので、決して諸君に感心して貰はう何のといふのではない、又諸君に感心して貰ッては困る。

評議員　三輪田眞佐子筆

さて兼て自分の考て居るに、由來美術と云ふものは何であらう、美と云ふものは何處にあッても美てあるものか否か、是等は諸君の既に研究せられた處てあらうが、思ふに美術は其用ゐらるゝ場所によッて、自ら其價値を異にする。例へば茲に美しい花がある、若しもそれが路傍に捨てられてあッたなら、誰も顧みるものはないが幸にそれが美人の頭上に翳されたなら、奈何てせう。其の花の價値は爲に大に發揮されるといふものではありませんか。又場所ばかりてない、人の心々によッて美と認められ、又認められぬことがある、所謂そのやうな美の觀念は、國の習慣風俗などからして大層異なッて來ると思ふ。早い處が西洋と日本とては、此の美の觀念か全く違ッて居る。西洋ては美と云ふものゝ中には必ず其の要素として健康とか强壯とか云ふことが重要視せられて居る。日本ては全く反對て健康では美でない弱々しくなくてはならぬ。例へば之を人にして見るに青い顏をして細い身躰をして徐に歩くといふのが美人であり、美男子であるとしてある。御覽なさい日本の美人若くは美男子は大概病的である。未だ嘗て丈夫な筋骨逞しき强壯躰の人に美人あり美男子あることを聞かぬ。習慣であるなら、甚だ惡い習慣だと思ふが、日本ではこれて永い間やッて來た。現に今日もさうで六つ七つの子供が尚且つ此病的觀念を持ッて居る。今日小學校で生徒の體格檢査をして、甲乙丙と云ふやうに其健否によッて定められてあるが、自分にも一人の娘かあッて夫が少々不健康であるので、丙組に組入られた事がある。困ッたものだと思ふと當人大喜び、何故なれば甲の組の人は皆ごつ〳〵した丈夫な所謂る美人ならぬ人ばかりて、乙の組が夫よりか少し美人て、丙となると一層美人てなよ〳〵として風にも堪へぬ風情といふのが多いさうて、夫て當人甲の組へ入るよりも、丙に入れられて却ッて喜んで居ると云ふやうなことて、是には一驚を喫したのであッた。子供の中から如此病的である。茲に一つ海棠の花がある、只其咲いて居ると云ふだけて既に美しいのである。然るに一朝雨に濡らされると、一層それを美しいと云ふ。何も雨に濡れて惱まんでも宜いてはないかと思ふ。西洋では決してこんな病的なものてない。健康は健康なるだけそれだけ、美の要素に富めるものとなッて居る。故に自然强壯ならんことを力めるといふものて、筋骨の逞しい肉つきのよい顏色の活々した人を見ると、まあ貴族のやうだと云ふ。日本ではどうです。貴族と云ふと、優にやさしい痩せた顏色の蒼白い人のやうに思ひなされて居て、偶に丈夫さうな逞しき人があると、ほんとに百姓のやうだといふ。大變な相違ぢやありませんか。されば日本の貴族になり、美人になるには病氣になッた方が早道てある。要するに日本の美の觀念は以上申したやうに、總て不健康不强壯、私の所謂病的と申すやうなものてある。人として美を欲し又自ら美人たらんとを欲するのは人情の常であるが、日本では美人とならうといふには先以て病氣にならねばならぬ、肺病になるが至極宜しい。して見ると、此の種の美の觀念は引いては國家の大なる病弊となりはせぬか、既に七つ八つの小な子供が此病的觀念に犯されて居るのを見ると、これは笑ひ事ではなくして、大に憂ふべきことてはあるまいかと思ふ。不健康な觀念は美術の上に表はれるばかりでは決してない、一國の元氣に關係して來る。そこで今日私の希望する處は何卒此不健康な病的な美術觀念を、もつと健康な强壯なものに改めしむるやうに致したいと思ふ。美術は國民の美的觀念を表白するものであると同時に亦其觀念を誘導左右して行く程のものでなくてはならぬ。今の若い婦人方は少くとも此の考で居て頂きたい。他家に緣づいて良人と共に世路の艱難を共にする位は言ふ迄でもないが、それと同時に樂をも共にしなくばならぬ。日本では夫婦共に樂むといふとは餘りない、何時も別々にして居る。良人は旅行するが、妻は頓と旅行しない、又良人は良人の友人か何かと遊ぶ、妻は妻で又別に遊ふと云ッたやうに、共に同じ樂みの中に樂く遊ぶと云ふやうなとはまだ日本に多く行はれて居ないやうに思ふ。是は一家の平和の上に大そう影響することと思ふ。それて何をして遊ぶが宜いかと云ふに野外に出て遊ぶと云ふ事が一番佳いと思ふ。日本人は總じて野外の趣味自然の趣味を知らないが、これ程樂しく又健康的なものはない。或は又ロンテニスなどもよい。少々御轉婆だと言ふかも知れぬが、此位の事は宜いと思ふ。て、私の望む處は若い婦人方は十分に身躰を强壯にして、或は野外に逍遙したり、或時はテニスを遊ぶなりして、ともかくさういふ種類のことて良人と共に樂しむことが出來、又良人を慰め得る程の健康を保ッて居られたいと思ふ。

思往事（故中島歌子刀自追悼歌）

會員　天野瀧子

ありしとかそへ〳〵てはて〳〵は
なみたにのみもくるゝ秋かな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　動靜

要旨　人の身躰は勞働すべく作られしものなれば、安逸に暮すは固より害あり、さればとて働き過すも亦害あるとは誰も知る所ならん。されば人は常々身心を適宜に動靜せざるべからず。さて身體の勞働は機械の運轉と同様にて、機械の運轉して其部分を消耗する如く、勞働すれば亦必ず躰中の物質の幾分を費さゞるを得ず。例へば劇しく手を使用したる後に筆を執り針を持つ事能はざるが如きは、勞働の爲に筋力衰へて意の如くならざるに至りしなり。又形無き精神にても形有る腦脊髓の中に宿る故に、亦同様なり、例へば同一の事を長く續くれば退屈して欠伸を催し、又同一の事を長く考ふれば、良案の出でざるのみならず思想に混雜を來たすなり、是れ同一の刺戟を長く續きて受くる時は精神の其部分疲るゝが爲なり。是等は蓋し一時の疲勞に過ぎざれども、此疲勞に回復を與へずして長く働くときは則ち病氣となるに至るべし、然らば安逸に暮して精神をも筋肉をも勞働せしめざるときは、如何あるべきかと云ふに、精神にありては物を推及するの力を失ひ、身躰に在りては呼吸及び消食の機能共に振はず筋力も亦衰ふ、殊に資産ある者安逸に暮すときは動もすれば酒食に耽り天賦の健康をも失ふべし。

然らば適當なる攝生の法は如何にすべきかと云ふに、一晝夜二十四時間を三分して八時間勞働し、八時間休息し(食事談話等)八時間睡眠するを攝生の原則とす。而して勞働と食物との比例を愆らざる樣注意すると肝要なり、美味を食して運動を怠る時は其食物は榮養を與へずして皆躰内に滯るなり、殊に蛋白質躰内に沈着する時は痛風を起して關節病となり、又脂肪躰内に堆積する時は運動不自由なる肥滿病となり食慾をも失ふに至るべし。是皆飽食逸居より受くる害なり、此肥滿病を快復せしめんには淡泊なる食物を用ゐ多量に水を飲み、空氣の淸淨なる山野を運動するに在り。又之に反して滋養ある食物を用ゐずして勞働を務むるは大に害あり、即ち躰溫となるべき食物不足なるが爲に、身躰中に貯へられたる脂肪筋肉燃燒消耗されて大に疲勞衰弱を來たすべし。

勞働　人の職業は數々あれども、大別する時は主に精神を使用する者と身躰を使用する者との二となる。精神を勞する職業の者は運動と睡眠と飲食時間の不足とに由ッて健康を害すると多く身躰を勞する者は運動一部分に定まりて身躰の諸部を均しく運動せしむると能はざるか或は惡しき身躰の位置をとりて運動する爲に、健康を害する者多し、例へば脚夫の足のみを使用し、織工女の不斷惡しき位置をとりて勞働するが如し、而して勞働職業中最も身躰に害なきは農夫なり。

睡眠　精神と筋肉とを同時に休止せしむるものは睡眠なり、睡眠は人間自然の休息にて、其間は精神及び關節などの隨意筋の運動は全く止み、唯食物消化器と血液循環器とは緩徐なる運動を爲し、老敗物方付けられ不足のもの供給せらる、呼吸緩徐にして且つ深く發溫も勞働中よりは其量を減ず、又血液も勞働中には腦と筋肉とに集まれども、睡眠中には消化を助くる腹内の諸臟及び皮膚に集まるを以て、皮膚及び腹部を冷さゞる樣夜着を纏ふこと必要なり、夜中に皮膚を冷して感冒し、腹部を冷して下利を起す者皆其部の溫を奪はるゝが爲なり。又安眠して精神を休むると肝要なり、濃き茶を喫みて睡を驅るは、疲れたる精神を强ひて興奮せしめんとするものにて、恰も疲れたる牛馬を鞭つが如く、衛生上甚だ害ありと知るべし。

凡そ睡眠の際五官の中最も敏捷なるは聽官にて熟睡せる者も呼起せば忽ち目覺むるなり、されば俗に目敏しと云ふは其實耳敏きなり。

◎家計收支の實況

長門國　會員　某

夫は九州某會社に在勤致し留守中會社にて得る俸給の内 毎月五圓を宅に送付致し余は下宿費 其他に引去られ二季の配當金は身元金として會社へ預け置くので御座います

一家族六人　老母、夫婦、子供二人(一人は目下尋常科一年生)下女一人

一收入金五拾八圓八拾錢　公債利子及株劵配當金其他

一支出金五拾圓拾五錢　一ヶ月分總高

内

金八圓	米代	金四拾五錢	新聞代
金貳圓五拾錢	薪炭油	金五拾錢	娯樂費
金貳圓	老母小使	金貳圓	親族扶助料
金壹圓	主婦小使	金貳圓拾七錢	下女給金
金貳圓五拾錢	砂糖乾物類	金九拾錢	長女學切符代
金六拾四錢	醬油代	金五圓	交際費
金四圓	肴牛肉玉子代	金壹圓八拾六錢	生命保險料
金壹圓六拾五錢	野菜代	金貳圓	被服月割
金貳圓四拾參錢	牛乳代	金貳圓八拾錢	所得税及税金月割
金壹圓五拾錢	菓子代	金參圓	雜費月割
金七拾五錢	湯錢	金貳圓五拾錢	藥價月割

殘金八圓六拾五錢　積立金

評　此家計いづれもつゝまやかなれど五圓の交際費はちと多きに過ぎ申さずや主人も不在のことなれば。

長崎　會員某報知

一家族四人　主人、主婦、子供(哺乳兒)下女二人

一收入金九拾圓　一ヶ月分

一支出金八拾九圓　一ヶ月分

内

金拾圓	主人の小遣	金九拾錢	味噌、醬油、酢砂糖
金參拾圓	故郷の父母兄弟に送金及諸税に充つ	金壹圓六拾錢	酒代
金五圓四拾錢	米代	金貳圓	菓子代
金四圓	魚代	金貳圓五拾錢	烟草代
金貳圓	野菜代	金五拾錢	茶代
金貳圓七拾錢	衣服代	金貳圓參拾錢	薪炭油代
金壹圓五拾錢	車代	金貳圓七拾錢	下女給料
金七拾錢	新聞代	金貳圓	子供の爲貯金
金六拾錢	郵便切手代	金參圓	主婦小使
金六拾錢	町費衛生費	金五圓	雜費
金壹圓	水道費	金八圓	便郵貯金

殘金壹圓

但し雜費は交際費、諸道具費、日々の雜費など右十九目の外の臨時の出金をこの中に入れ置候につき割合に多額に相成候

評　以上二表を見くらぶるに孰れも生活費は五十圓許なり。此表には故郷へ送金と主人小遣と四拾圓 其以外にあり、前表にも別に主人の會社より受くる俸給あり彼是總收入大差なかるべし、費目に於ても双方同額なるもの往々あり、家政に注意せる人々の支出概ね一致するを見るべし。

◎西洋料理の調理方

(四)フライの拵やう

フライは魚の切身、又は小魚なりとも、温飩粉、鷄卵、麵包粉、等をよき加減に溶解し、煉りて、是に鹽、胡椒を加へ、右の魚類の粉皮となして胡麻の油にて揚ぐるなり。又蝦を以て、右の如くあげたるものに限り、タプシタカッレッといふ。但しフライをあげはじめたらば、多少によらず休むべからず。

(五)カッレッの拵やう

牛の搗肉カッレッを拵へるには製しパンの上皮を去り湯に浸し直にあげ、布にて絞れば、ばらばらとなる是を少し搗肉にまぜ牛酪を入れ、餅をのばす如く平たく○の形となし、鷄卵の解たるをつけ、又麵包粉にてくるみ、牛の製し脂肪にてあぐるなり。但し器にもるには萌菜の葉をおきあはす。

(六)オムレッツの拵へやう

鷄卵を割て、鹽と、胡椒を少許入れ、フライ鍋か、又は通常の鐵鍋にて、普通の鷄卵燒をなすより手早く半熟となすべし。尤も鍋に牛の製し脂肪を少しぬり、火どりてから鷄卵を入るべし。又燒肉の細かく切りたるを入れ、燒きたるを、肉入れオムレッツといふ。

(七)フーカゼの拵やう

フーカゼを拵へるには、例へば、牛肉一斤、豚肉二斤、鹽、胡椒を加減し、鷄卵三四個、及びパンを水に浸し、絞り上げ、少し混和て、臼にて搗き、或は少なれば、擂盆にて擂るもよろし、蒲鉾形になし、ソウスをつけ、ストロー（ロース燒の鍋なり）にて、蒸燒にすべし。但しソースを製するには、牛肉のソップに、上等の饂飩粉と、赤茄子を湯でゝ擂入れ、燒鹽を加へ煮詰て背漉にするなり。

◉歌の詞書につひて

問　前號中山幸子女史の歌の詞書に「よみてつかはしける」とこれあり候、此言葉は一寸なめげに聞え候が、人に向ひ斯くいひおくりて、差支これなく候や。

編者答　今日の俗語にてはつかはすとは目下の物に對する語に候へども此處は俗語にあらず雅言に候へば贈るといふ意味に相成り少しも差支なき事と存候試みに古今集など繙き給はゞ長きあたりへさし出すに「よみて奉る」とありて其他は大抵「よみてつかはしける」とこれあり候稀に「よみて贈りける」「よみてやりける」など見當り候古今集中より一二の例を左に擧げ申すべく候

友だちの久しうまうでこざりけるもとによみてつかはしける　みつね

水のおもにおふるさつきのうき草のうき事あれや根をたえてこぬ

ある女の業平朝臣をところさだめずありきすと思ひてよみてつかはしける　よみ人しらず

大ぬさのひくてあまたになりぬれは思へとえこそ頼まさりけれ

友だち同志のみならず在五中將の身分ある人へ婦人よりおくるにも斯く認めし事に候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉別項神奈川支部總會に於ける總裁殿下の令旨及び會長閣下の祝辭を左に掲ぐ。

令旨

愛國婦人會は愛國の婦女子相集まりて軍人遺族の爲め設立せしものなるも爾來日に月に益々會運の隆盛に赴くを見る何の悅びか之に如かん抑神奈川支部は全國を通して會員の數最も多きに居るは諸氏熱心に盡力せし結果今後尚一層勉勵本會の希望を達せん事を期せよ智惠子本日幸に諸氏と茲に相見るに臨み聊か所思を述べ前途の隆昌を祝す

祝辭

豐年の兆しもしるき千五百秋の田面の稻の打ち靡きて我が總裁殿下を迎へ奉らるゝ會員諸氏が赤き心の誠は今を盛りと染め出づる浦の紅葉の色にも增り日に月に進みもて行くこの會の前途の望みは霜に傲れる籬の菊の千代万代にもたぐへつべくなん

殊に全國に亘れる本支部の會員は既に四万餘名と數へらるゝ中に當支部なるも特に三千幾百名に餘りて殆ど全員十分の一を占められたる誠にこよなき績といふべし

いてや今よりはいよゝ會運の增進と事業の發展とを計りて菊の薫り民草の袂に滿ち紅葉の錦しくものも無き惠の四方の海に溢れつゝあやに畏き殿下が御旨にこたへまつらん事を希ひこゝに聊か祝のこゝろを述ぶるにこそ

明治三十六年十一月八日

愛國婦人會會長公爵夫人　岩倉久子

◉評議員會　本月中の評議員會日割は左の如し

十一月四日（第一水曜日）第三の組
十一月十一日（第二水曜日）第四の組
十一月十八日（第三水曜日）第五の組
十一月廿五日（第四水曜日）第一の組

◉評議員會の景況　十月廿八日、第二の組、評議員會出席者は、仁杉歌子、藤井いく子、中山幸子の三氏にして去にし四日第三の組評議員會には、岩倉會長、始め柳澤秀子、松平久子、松平須磨子、千家俊子、鄭濱子、中山幸子の各評議員出席せられ、本部新築の事、及神奈川縣支部大會へ出張の事について評議せられたり。

◉有功章贈與　左の各夫人は、本會へ金品を寄贈せられたるにより、總裁殿下より、有功章を賜はりたり。

七寶金色製有功章　會員　原　禮子
七寶銀色製有功章　評議員　松平久子
同　同　濱尾作子
同　同　高木錄子
同　同　鄭濱子
同　同　佐藤猶子

◉本會神奈川縣支部大會の景況　前號に報ぜし如く、本會神奈川縣支部に於ては、去にし八日、同縣川崎大師河原平間寺に於て、發會式を兼ね第一回大會を開きたり。同支部に於ては、今春來屢

寫眞附錄の人名（寫眞面の順序）

靜岡縣支部幹事會

幹事　田中ふみ子　仝　松山いつ子　仝　近藤鈴子　仝　征原じゆん子　仝　山梨かう子　仝　長島うら子　仝　清水しか子

幹事　鯨房みつ子　仝　遠田さえ子　仝　井上れつ子　仝　小林佐智子　奥村五百子　幹事　角谷こまえ子　仝　岡本しほ子　仝　新間韻子

仝　甲賀みれ子　仝　安河内ゆみ子　副幹事長　月田松子　仝　關谷とみ子　幹事長　山田竹子　幹事　原田芳子　副幹事長　野崎すく子　幹事　坂主れい子　仝　尾崎とく子

開會せんと企てしも、種々なる障碍のため其意を果さゞりしが、近頃會員も非常に多數となり、いよ／＼發會式開催の氣運迫りたるを以て、幹事長以下の容易ならぬ盡力にて、今回開會の運に至りしにて其設備も申分なきまでに行き屆けり。先づ會場の設備の模樣より記さんに、會場の入口には「愛國婦人會神奈川縣支部發會式並第一回總會場」と標示し、其上に國旗を交叉し、本堂を以て式場に充て、殿下の御席は一段高く、絨緞を敷きつめたり、庫裏を以て殿下御休憩所に、二階を會員休憩所に、庫裏を事務室と餘興場とに充て、菓子交付所を式場出口に置きたり、さて副幹事長及幹事一名新橋停車場まで奉迎のため出張し、總裁殿下は岩倉會長の御先導にて、午後一時發の特別列車に御乘車あらせられ、理事谷子爵夫人、評議員、柳澤秀子、伊東美津子、松平須磨子、戸田時子、松平久子、淸浦錬子、千家俊子、岩佐德子、濱尾作子、高木錄子、栩橋絢子、中山幸子、柳谷千代子、鄭濱子、神山万佐、佐藤猶子、仁杉歌子、關郁子、の諸夫人御同車申し上げ、汽車の川崎に着するや、御馬車にて御入場、幹事長以下會員一同正門まで奉迎、御休憩所にて重なる役員に拜謁を賜ひ、暫時御休憩、二時三十分の第一鈴にて諸員式場に着席、殿下は周布幹事長の御先導にて式に臨ませらる、周布幹事長支部發會式を兼第一回總會を開く旨を告げ、會員現在表を捧呈す、つゞいて殿下御起立あらせられ、親しく御諭旨を賜はり、周布幹事長の奉答、會員總代幹事木村泰子氏の祝詞、周布知事の祝辭、岩倉會長の祝辭あり、次で副幹事長事務の報告あり、式茲に終り、殿下御退場、更に餘興場に臺臨あらせられ、會員一同と共に餘興を御覽あり、了つて御退場遊ばされ、庫裏に於て暫時御休憩の上、職員の御見送りにて御機嫌うるはしく、御馬車に召させ、御歸京あらせられぬ、幹事長は特に御殿まで奉送せりとぞ、式後接待員よりは、會員一同へ菓子を交付せり。當日の來會者は横濱市、及び郡部よりの來會者非常に多く、殆んど六百余名に達したりしも、各幹事方各々其部署を定め、周旋盡力せられたれば、何等の混雜もなく、いとも靜肅に式を終へたり。

愛讀者の君方に願ひまつる

奥村首唱者の遊說に依て各地に會員方增加致候に就ては從來本紙を御愛讀下され候方々より新會員の方々へ本紙購讀の儀御勸め下され此の機關紙に由り愛國婦人會の主意ます／＼貫徹致候樣御盡力を仰ぎたく願ひ奉り候

本紙代金の儀東京市内横濱市内だけは集金人を差出し候へども各地へは此の便宜を得ず候に付發行部數の多きにも拘らず印刷費不足致し困居候御面倒ながら代金滯りなき樣御送附下されたく懇請の至りに候代價は本紙第一面に掲け候通りにて郵便切手代用にてもよろしく候

大日本女學會內（東京麴町下二番町）

愛國婦人發行所

◉麻布區講談會の景況　去月廿七日赤坂倶樂部に於て催されし、本會東京支部麻布區講談會の模樣を記さんに、午後二時より開會幹事小浦義子氏開會の旨趣を陳べ、文學士下田次郎氏本會の旨趣賛成演說と共に、歐米の婦人事業を紹介し、評議員栩橋絢子氏の儉約談あり、終つて餘興として、幹事方の令孃、麻生富久子、南鄕貞子、尾崎久子、尾崎花子孃等の箏曲合奏あり、會員方の手になれる、活花數十種、盆景十數個あり、一同茶菓の饗應を受け、午後五時散會したり。當日の來會者は、千家幹事長を始め、山地、關、松平の各評議員、其他幹事會員、及其家族等合せて八十余名にて、新入會者もあり、頗る盛會なりき。

◎奥村刀自遊說日誌

十月四日　午前八時新橋出發、靜岡縣に向かふ、午後二時靜岡に着、山田幹事長以下の出迎を受け、魚文旅館に投宿す。

十月五日　午前中知事等を訪問し、午後三時より靜岡メソヂスト教會堂に於て開會す、傍聽者は各女學校生徒等なり。

十月六日　午後六時より前日の會堂にて開會、來聽者は陸軍將校夫人、裁判所高等官、市中有志家の婦人にて、約四百名、即時入會者十二名ありたり。

十月七日　藤枝町に向ふ、同町柿屋へ投宿、午后二時より熊谷山蓮生寺に於て開會、突然の催しにて來會者僅かに二百名に過ぎざりし、當地は製茶業者多く、百万圓の輸出額あるよし、米も上米出來、有望なる郡なり。

十月八日　午前中榛原郡川崎町に向ひ、川崎ホテルに着、午後二時より同ホテル樓上に於て開會、傍聽者百四五十名。此地は地形東西に延長して、來會に不便の地なり、而も當日雨天にて、如斯集合せられたるは、一行の大に喜ぶ處なり、此集會を紀念として、婦人團体を作らんとの協議をなせり。

十月九日　午前出發、掛川驛着、郡長等の出迎を受け、午後三時より郡立公會堂に於て開會、來聽者約三百名、市川郡長熱心なる贊成演說をなす。

十月十日　午前出發、磐田郡中泉驛に着、郡長夫人以下の出迎を受け、午後二時より見付高等小學校に於て開會す、來會者四百五十名、入會者三十五名あり、一行は同地醫師中野慶次郎氏邸に宿泊す、午后七時より同邸に於て、有志の談話會を開きたり。

十月十一日　午前出發、濱松驛に着、濱松婦人會役員等の出迎を受け、午后二時より心造寺に於て開會す、傍聽者女學生多數にて、有志婦人勤きにより、一先つ休憩の上、午後七時より更に開會、婦人會員諸氏の盡力により四百余名の有志婦人來會あり、入會者三十余名ありたり。

十月十二日　午前八時出發、江尻町に着す、郡長夫人の出迎を受け、午後二時より江淨寺に於て開會す、聽衆二百余名ありたり。

十月十三日　江尻發、沼津町に向ふ、水谷郡書記等の出迎を受け、午後二時より飯田座に於て開會、聽衆六百余名、河野郡長夫人開會の主旨を陳べらる。入會者若干。

十月十四日　沼津發、靜岡に歸り魚文旅館に着、午後五時より知事邸の晩餐會に臨み、知事其他の人々より縣下の婦人界の模樣を聞く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世論一斑

◉家庭敎育に就て

我國には母親が家庭敎育の何物たるを辨へて居らざるを以て幼稚園を有効ならしめざるべからず。而して幼稚園にては敎ふると云ふよりも只遊戯について善き遊をなさしむると云ふ事だけにて足る。子供の間は敎へずともよく親の擧動を眞似るものなれば母親は殊に素行を愼まざるべからず。抑も家庭は婦人の主宰するものなれば婦人の敎育は最も之を盛んにせざるべからず。昔時は女子は溫和を旨としたれども今日は夫れのみにては不十分にて更に一歩を進めて男を扶くるを得べきものならざるべからず。故に十分學問を修めしめ其實力を養ひて後婚嫁せんことを望む。學問して眞正に智慧を研げば道理を辨ふるを以て自然品行も正しくなるものなり。又婦人は身体の强壯ならんことを注意せざるべからず身体弱ければ夫への奉仕も自ら怠になるものなればなり。（加藤博士所說國民新聞）

◉婦人社會の救濟

社會的壓力の下に最も多く呻喚するものは婦人なり。婦人の第一の災厄は其貞操を破るにあり而して下層の婦人には此危險が常に其身を纒へり。乃ち之を救濟するは第一の急務なり。第二に救濟すべき事は既に貞操を破られて濁流に陷れる婦人なり。今や社會的救濟事業は乏からざれども未だ是等のものに向つて適當なる設備あるを聞かず、僅に救世軍の醜業婦救濟所と婦人矯風會の慈愛館等あるのみ。元來救濟と云ふ事は金錢を與ふるの謂にあらず。衣食を與ふるの謂にあらず、彼等を濁れる中より抽き來りて獨立の精神を與ふるにあり。自立自守の尊ふべきことを敎へざるべからず。特に近來婦人の勞働漸く增して婦人の墮落も之に伴ひ、男工を使用せる工場も漸く賃金の低廉なる女工を歡迎せんとする有樣なるが、彼等少女の多くは一時の低賃を得て終生の墮落を見るものなり。世の婦人事業を思ふもの深く此點に留意するを要す。（每日新聞社說）

◉妻母たる者の資格

第一身體は壯健にしてつれに活潑なるを要す。身體の健康ほど一家の幸福なるはなく身體の軟弱なるほど一家の不幸なるはなし。されば肢體の弱き女子はたしかに人の妻母たるべき資格の重なる部分を欠けるものと云ふも可ならん。殊に中流以下の婦人は別して剛健なる身體を要す。然るに今日の女子を見るに軟弱のもの多し。余是等の人に向つては常に「兎に角お動きなさい肢體をお動かしなさい人間は動きさへすれば身躰は屹度健全になり健全なれば世の中は愉快なものです」と云ひ居れり。第二情心所謂る思ひやりの心に富むを要す。夫は世事に奔走して苦しみ一家の經營に骨を折るに關はらず其妻は恬として之を顧みざるなどは妻たるの義務を盡すものといふべからず。卽ち同情相憐の心なきものは良妻にあらず、賢母と云はゝるも亦同情之が基本となるものなり。第三意思堅固なるを要す。世人が婦女を薄志弱行と罵るもその源は意思の鞏固ならざるに在り。余は生徒に向ひ「人は意思が鞏固で勇氣さへあつたら他人の力を俟たないでとんな立派な人物にでも確かに成れると私は信じます」と言ひ聞かせをれり。（嘉悅孝子氏所說女鑑）

◉遊戯問題

勞作なくは休息なし。まことの勞作を爲すものにして始めてまことの休息の樂みあり。日本人の弊として勞作するか、休息するか其分界明ならず二者孰れにも全力を傾くる事能はず。元來休息とは或る働きより或る働に轉ずるの意味にして、勞作が人の事業たると同しく、休息も人の一事業にして、休息は決して遊惰にあらず、安逸あらず。額に汗して勞作する社會のものにのみ、眞に休息の賜あるものなり。然らば如何にせば適當なる休息方法を得べきか、是に於て遊戯問題起る。而して遊戯は智力的と躰力的とに別つべし。智力的とは意思の働き多き碁等の遊を云ひ、躰力的とは身躰の働き多き遊を云ふ。一は多く室內に行はれ、一は戸外に行はる。故に戸外の業務に從ふものは休息の時は室內的遊戯を選び、然らさるものは戸外の遊戯を選ぶと可ならんか。英國人が戸外遊戯を好み老翁が紅顏の少年に伍して遊ぶかごときは、其の壯烈なる氣象を顯はせるものと云ふて可なり。日本人も學校を出て後も男剛なる運動をなすを要す。云々（讀賣新聞社說）

◉日本の女子

今日の女子が夫を助くるに方つては其敎育が大に缺乏し居れり。これ畢竟男子と女子との敎育が余り隔り居るが故なり。女子には第一男子の事業を理解するだけの敎育が必要なり。第二には女子は男子と遊び友達となるだけの資格が必要なり。近來男子が家庭に於て遊ぶべき工夫を色々回らして居れども依然男子のみの遊びに止まり、女子と共に遊ぶこと能はず。例へば女子ピヤノを奏し男子之が歌詞を唱ふと云ふ風にならざるべからず。又女子は意思が單純なるだけ道德心亦强きものなれば女子は進んで男子の風儀を正すだけの力を養成せざるべからず云々（尾崎行雄氏所說女鑑）

雜報

◉第三高等女學校

麻布區北日ヶ窪町に新築したる、東京府立第三高等女學校は、客月卅日開校式を擧行したるが、同校は三十五年四月一日工事を始め本年八月二十五日に竣工し敷地坪數は五千六百五十二坪二合六勺、建物總坪數九百四十三坪三合二勺八才にして經費豫算額は二十萬二百四十七圓三十五錢八厘なりと。

◉成女學校

同校第四回紀念會は去にし三日擧行したるが、來賓及び生徒父兄非常に多く、式辭及び祝辭を陳べたる後ち、餘興として唱歌朗吟對話等數十番あり、終ッて生徒手製の茶菓を饗し且つバーザーを開き、紀念繪はがき造花編物等を賣り、其賣り上げ高を同校建築基金に寄付したり。

◉婦人と觀兵式

去にし三日天長節の觀兵式は、青山練兵場に於て、擧行せられ、非常に盛大なりしが、各國公使夫人を始め外國貴婦人の陪觀者隨分に多かりしが、日本の貴婦人は某伯爵夫人の外見うけざりしはいと物足らぬ心地ぞせる。

◉天長節夜會

例年の通り外務大臣の催しにかゝる帝國ホテルの夜會はいと盛大なりき。田中宮內大臣夫人は、外務大臣夫人の代理をつとめられ、來賓の重なる方は、閑院宮妃殿下、久邇宮妃殿下、梨本宮妃殿下、華頂宮妃殿下、を始め奉り朝野內外の貴女紳士實に、千三百余名にして、舞踏會を開き四日午前に入りて一同退散せしよし。

◉東京美術學校紀念祭

上野公園內なる同校に於ては、去にし三日同校設置紀念美術祭を擧行したるが、本邦に於て美術祭の擧行は始めての事なれば、同校職員生徒は非常なる奮發を以て餘興飾物等の計畫を爲し室內に河口師の西藏より齎せし品物を陳列し、庭內に賣店の設計あり、祭壇に對し演舞場の設けあり、生徒の意匠になりし種々なる余興を擧行したるが、當日の參觀者無慮數千人に達したりと云ふ。

◉日本體育會の運動會

同會は此頃日比谷公園內に於て擧行する筈なるが、其の運動會の要旨によれば(一)に各人體軀の强健を奬勵するを目的とし(二)に年齡の程度男女の差異に適應する、競技運動を爲すこと(三)に競技は競技其ものを目的とし賞品の有無に關せしめざること(四)に團體的若くは個人的運動を適宜に課し、協同一致の精神の涵養及び爽快勇壯の氣象を皷舞するを期す。以上の要領を以て模範的に運動會を擧行し、同校女學生徒も競技するよし。

◉故中島歌子刀自追悼會

故中島歌子刀自の門に敎を受けし岩倉、近衛兩公爵夫人、鍋島、前田兩侯爵夫人、兩松平伯爵夫人、岡部子爵夫人、南部詮子、日野西廣子、佐々木芳子、田中不二子、片山鑑子、田中みの子、天野瀧子、三宅龍子、其外二十餘夫人發起となり東久世通禧、佐々木高行、長岡護美、松浦詮、下田歌子、黑川眞道、成瀨仁藏御歌所の諸氏等を賛助員とし此程星が岡茶寮に於て故刀自の追悼會を營み各自詠草を手向け刀自の靈を慰めしよし當日の兼題は「思往事」なりき

◉大日本女學會

同會第三回講習期去月を以て講習終了を告げたるを以て、同會總裁、小松宮頼子殿下より、左の令旨を賜はりたり。

令旨

國の基礎を固め、世の腐敗を防がんには、家庭敎育こそ最も大切なれ。さて、家庭敎育の效を完からしめんには、まづ母たらん者に女學の修養を積ましめざるべからず。されば、女子敎育は家庭敎育の根柢にして、國家の繁榮是に由りて萠すべき也。我大日本女學會、夙に女子敎育の普及發達を圖り、世の學問に志しながら、種々の障碍に支へられ、女學校に入學するを得ざる多數の女子等に、居ながら學問を修めしむべき方法を設け、玆に三回の學期を經過し、貳萬五千人の講習終了者を出しぬ。あはれ、女學校學生の外なる是等多數の女子にまで、敎育を及ぼし得たるは、國家のため賴子の深く嬉しみ思ふ所なり。願くは、我會の賛成員、講師、事務員等、いよゝ勵みて此の會の擴張を圖り、敎授の懇到を旨とし、會務の整理に任じ、益々此の旨趣を普及して、女子敎育の發達に努め、以て國家繁榮の根柢を培はんとを。

明治三十六年十月

◉婦人共立育兒會總會

第八回總會は十月廿七日午後一時より神田靑年會館に於て擧行せられたり。來會者は一條公鍋島侯板垣戸田兩伯岡部谷兩子澁沢男各夫人金子男及び同夫人等を始め五百餘名、有栖川宮妃總裁殿下御臨場令旨を賜はりたり。

◉音羽艦進水式

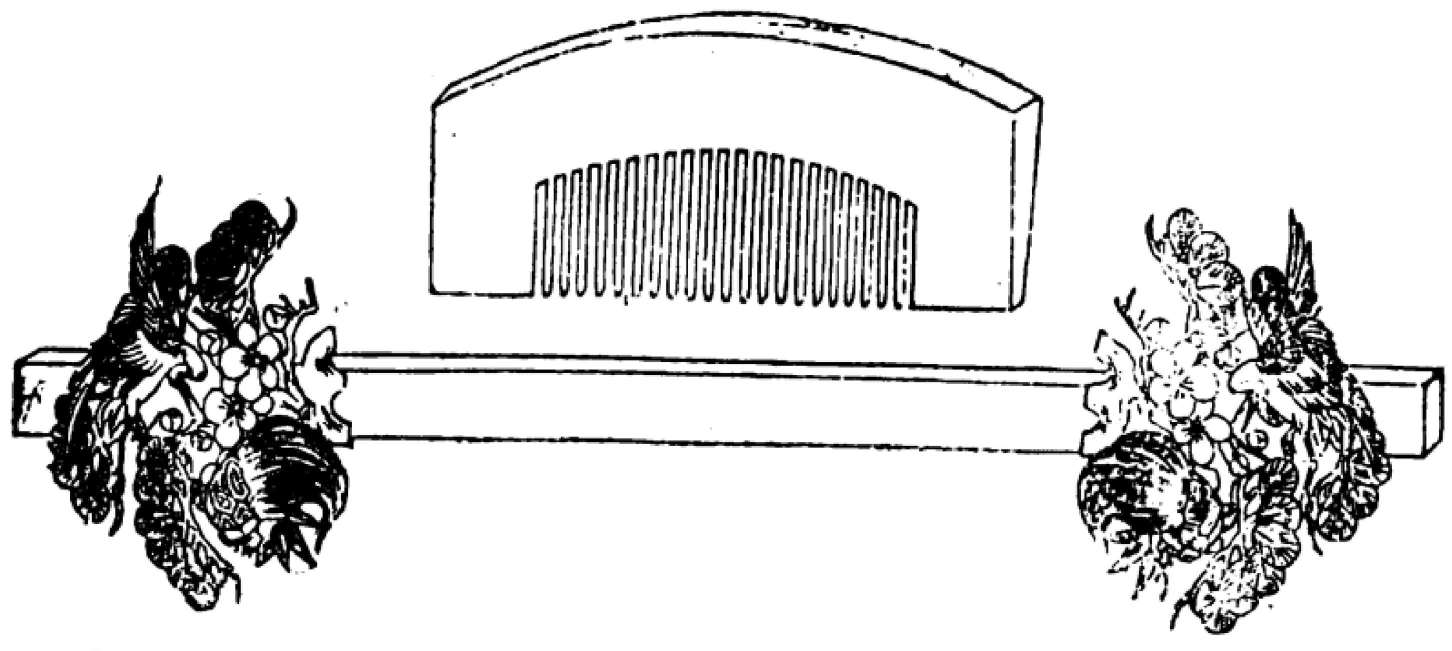
帝國軍艦新造三等巡洋艦音羽の進水式は、去にし二日橫須賀造船廠に於て擧行され、天皇陛下式場に御臨御海軍大臣進水命令書を朗讀し造船廠長は三鞭酒を注ぎ掛け次て繫索は斷たれ、藥玉は破裂し三羽の鳩は空高く飛び出すと同時に楔は除かれ其瞬間に船は活動を始め拍手の裡に美事波に浮び出でたりと云ふ。

新著紹介

本田增次郎著	醒語	定價八拾錢	內外出版會社
嘉納須磨子著	富士の道芝	仝	仝社
前田曙山著	園藝文庫	定價六十錢	春陽堂
武田千代三郎著	新農家	定價四十錢	三光堂
安藤鐵腸著	敎界の婦人	定價貳拾五錢	文明堂
東海散士著	日露戰爭 羽川六郎	定價九拾五錢	有朋館
千宗室著	茶道 濱乃眞砂		大阪同盟館
渡邊光治著	婦人の友	定價五十五錢	濟松渡邊醫院
松本孝次郎著	兒童心理學	仝 六十錢	成美堂
落合浪雄著	女子職業案內	仝 三十五錢	大學館
婦女新聞編	天眞爛熳	仝 十五錢	婦女新聞社

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

儀式用御櫛笄



上圖櫛笄の材料は鼈甲を以て随一となせど鼈甲の中にも品質の佳からざる物少からず此品は鼈甲中の最良質を精選して良き工の手に成りたる物なれば透明にして狂を生せず浮を出さず幾久しく御道具となるべき逸品なり

○本甲製 一組價
二十五圓三十五圓 五十圓 七十五圓 一百圓 百五十圓 二百圓二百五十圓

○甲張製 一組價
十圓十二圓十五圓 十八圓廿圓廿五圓 三十圓 三十五圓

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店 松田幸治郎
特電話新橋五五一番

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢

一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして清血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわるとなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたッぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●○南まけづつう目まひによし○ふるちとゝこほり○ながち○しらち○手あしひびれ○○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○○むねこしいたみ○つぎむしによし○さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○猶能書にくわしくしるす

東京市本所區東兩國横網町一丁目
本家製藥所 齒磨店 伊勢吉本店 (電話浪花二七五八)

本店 東京日本橋區長谷川町貳番地
卸部 **美濃磯本店**
電話浪花二八五九
電略ミイツ

小賣部
本郷區本郷五丁目十九 電話下谷二四一五 美濃磯本郷支店
淺草諏訪町廿貳 美濃磯淺草支店
㊫ 芝區新櫻田町九番地 小田商店
牛込神樂坂町二丁目八 伊澤商店
四ツ谷傳馬町二丁目 伊澤支店

目 **半ゑり帯揚**
類卒先意匠嶄新好價直低廉正直段
優等縮緬半ゑり**大見切** 三掛組合せ 壹圓 壹圓半 貳圓
他類なき稲徳襟
新橋竹川町十二番地 チエリー本舗 **ゑり治**商店
電話新二〇二七

ヴワイフレツト製 **壽美花おしろい**
伊壹 壱室 吉製
定價 大瓶二十錢 小瓶十二錢
定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶十錢

西洋色白くなる洗劑 **壽美花あらひ粉**
東兩國 伊勢吉 壽美花堂
定價綵藍紅彩蝶雷ひ箱詰六錢五厘ボツクス入三〇〇入香錢

專賣特許竈

日本橋區蠣殼町二丁目
(電話浪花壹壹七七番) 製造發賣元 **名和商店**
神田區松永町十八 和泉橋通 **名和支店**

● **水原産科婦人病院**
○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

婦人最良藥
子宮病血の道産前、産後の諸症にて種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ
●**如何なる難病**も二三週間に**全治**す

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし
(定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢)
●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ
本舗 東京日本橋通四丁目 津村順天堂
大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂
中將湯は全國各藥店にあり

醫院案内

婦人科産科榊病院
東京麴町三番町卅三(電話番町三九五)
院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
副院長 醫學士 久保徳太郎 每日夕刻診察

耳鼻咽喉科院
院長 ドクトル **山上兼輔**
四谷區本村町三十七番地
電話番町七三〇(士官學校前)
診療時間 毎日午前八時より十二時迄午後六時より七時迄○日曜大祭日は午後休療往診の需に應ず

東京小兒科院
駿河臺西紅梅町(電話本局一九五五)
院長 醫學博士 **瀨川昌耆**

◎◎**最新療法**◎◎
瘰癧 切開ヲ要セスシテ根治ス
○心臟病○脚氣 **專門**
千葉内科院
神田區三崎町三ノ一(西通リ二十五)

内外科泌尿生殖器科
醫學博士 佐藤進
同 佐藤佐
醫學士 佐藤恒久
同 佐藤次郎
醫學士 田中苗太郎
醫學博士 阿久津三郎
醫學士 吉井明七
醫局員 菅野徹三
同 前田利雄
同 笠間大作
各科專門ノ醫士分擔シテ診療ニ從事ス
毎週月水金午後一時ヨリ貧困者ノ爲メ施療部ヲ設ク
順天堂醫院
本郷區湯島五丁目お茶ノ水
電話本局三六九番

專賣特許 **安全かみそり**

最新の發明品柄の先に在るネジと車の作用にて回轉自在故に耳鼻穴の他には何人にも安全に剃れ負傷等の意患に無く小兒の頭剃等に至極妙革砥刷毛等一切附屬す甲は替刃も添
甲金壹圓五拾錢 乙金壹圓 丙金七拾五錢

東京日本橋區本石町四丁目十番地
三劍商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

女學生必携

明治卅七年日記

『あなた。いいご本ねえ。それはなあに。

『これが此頃評判の有朋館の女學生日記なの、ほんとうに便利で有益なのよ。

『そう一寸拜見。まあいいのね私もぜひもとめませう。そうして皆さんにも、さつそくをしへて、あけませう!!

▲格言、事蹟、詩歌、俳句、月令、女學校案内作法、割烹、祝祭日唱歌、其他必要事項採錄

◉菊版半折頗美本　定價廿五錢　郵税四錢

東海散士著

日露戰爭羽川六郎

東亞地圖挿入

◉全壹冊定價金九十五錢●郵税金拾二錢

日露の關係は我神州未曾有の國難なり今は實に憂然一聲砲火將に爆發せんとする瞬間に在り唯其れ海戰は如何、陸戰は如何、露國及列強の狀勢は如何、抑勝敗の決は果して如何、此書は小說にして小說にあらず、實傳にして實傳にあらず、東海散士が縱橫なる文藻を確實なる事實に寓し、平易に明暢に此問題を解決して我國民諸君の一粲を博せんとするものなり

發兌元　東京本鄉四丁目八　有朋館

十二版

產科婦人科楠田病院長楠田謙藏先生閱並序　產科專門醫　渡邊光次先生著

普通姙娠論（ふつうにんしんろん）

附り　姙婦の攝生

本書は久しく產科婦人科に從事して經驗に富める專門醫渡邊先生の著にして生殖器の解剖、生理、衞生を始とし生殖に影響する全身の疾病、婚姻並に婚姻後の注意姙娠並姙娠後の攝生に至る迄廿三章百廿項を設け悉く網羅して平易簡明に解說し加之精巧なる石版圖畫數十葉を挿入し振假名を付せられたれば苟も自己の健康に注意し系統を蕃殖し**强健の子孫を得**んと欲する諸君は男女を問はず必ず一讀せざる可からざるの好著述なり一たび此書を繙かば多病なりし夫婦は壯健となり不和なりし閨門は圓熟し不姙なりし婦人は可憐の小兒を擧ぐるを得ん大方の諸君乞ふ世に有ふれたる此種の著述と同一視するとなく一讀其不幸を癒せらる可し

發行所（電話本局九四九番）神田區鍛冶町四番地　誠之堂書店　●取次全國各地書店

續編　小兒養育法　一名　兒を擧る法

石版精圖四十個入●懷中美本　正價金六十錢　郵税密封小包送

大日本女學會

女學講義世評一斑

『時事新報』　女學講義は着實の方針を取り組織甚だ宜しく婦人の自宅教習書として最も適當のものなるべし（中略）華實兼備はりて浮華輕躁の風なく實益を主とする好雜誌なり

『讀賣新聞』　本邦女子教育の甚だ發達せざるは實に慨歎せざるを得ず地方に在ては高等教育を受けんと欲するも就て學ぶ校舍なく爲めに高等小學校卒業後直に學を廢するは遺憾の極と謂ふべし大日本女學會茲に見る所あり此種通信教育の法によりて女學講義を發刊せり女子に必要なる科目を平易明瞭に講述し且つ雜錄には女子の服膺すべき訓戒を載せ其他小說詞藻雜報等ありて高等教育を受けんとする女子の爲めに極めて良好の講義錄なり

『日本』　女學講義（十五卷）卷頭にかゝげられし三十一文字は畏くも、皇后宮より下し賜ひし大御歌にて正風氏の幹いとうるはしく認めたり、陛下教育御熱心のほどかしこくも尊とし、學科、手藝、詞藻、小說、御伽噺、雜錄、雜報の諸欄よくとゝのひてめでたし、志あるほどの者は入會して共にやまと女の德操を養うて可なり

『都新聞』　女學講義（第一卷）麴町區下二番町の大日本女學會より發行せるものにて女子の講義錄には高尙にして優美なる雜誌なり同學會は畏きあたりの御贊成もあり貴顯の奧方も多く贊成し居らるゝを以て其組織も亦確實なり

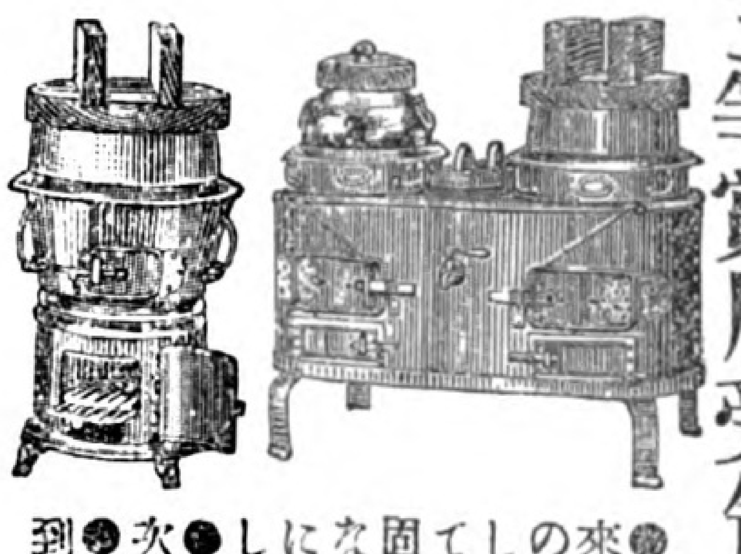
『防長實業新聞』　發兌以來江湖の淑女より歡迎されたる女學講義は本號より特に從來の會勢を擴張し誌上に改良を加へたりと云ふ宜なり前號に比して出色あるを先づ卷首の皇后陛下の御詠「よるひかる玉もなにせん身をてらすふみこそ人のたからなりけれ」謹有拜誦せらる其他學科能く整理し居れり滔々たる俗流の中に在りて一頭地を拔く他雜誌の遠く及ばざる所なり

『新大和』　女學講義（十五卷）開卷劈頭に高崎御歌所長の謹書せる皇后陛下御下賜の御詠歌を載せ此女學講義が位地あり信用ありて他の紛々たる女學雜誌と異る點を示し居りぬ學科には修身より作文作歌は固より家事經濟裁縫割烹等あり其他幾篇万朶の花をつゞると言はん歟

富貴竈

第五回內國博覽會三等賞牌受領

薪炭兩用　專賣特許



◉本器は世間在來の竈の不備の點を悉く完備したる構造にして製作の精良堅固なること無比なり眞價は實驗にて知り給ふべし

●說明書御一報次第進呈す

◉販賣店は全國到る所にあり

アルミニユーム製器具

本器は高尙優美にして衞生に適し經濟なる美術的器具なり

此外舶來琺瑯引器具及び硝瓶湯沸銅鐵物類

發賣元　東京淺草茅町淺草橋際（特電話下谷一九二三）　阿部彥四郎商店

代理店　橫濱市吉田町一丁目　內田甚兵衛

紳士貴婦人用

高等香油チエリーオイル

定價　大瓶八十五錢　中瓶四十五錢　小瓶二十五錢

東京市日本橋區本町二丁目十五番地

日本直輸入元　高橋初次郎（特電話本局四一二三番）

◉全國到る處の小間物化粧品賣藥店に販賣致居候

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通り

本鄉支店　飯倉支店　赤坂支店　四谷支店　品川支店　橫濱支店

神樂坂支店　須田町支店　米澤町支店　吾妻橋支店

代理店　日本橋坂本町　田中銀行

◉一錢以上何程にても御預り致し御便利に取扱申候

◉毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

「愛國婦人」「をんな」並に「女學講義」廣告取扱

神田區千代田町　博報堂　電話本局一四四番

京橋區尾張町　弘報堂　電話新橋八五一番

京橋區八丁堀中町　一星社

日本橋區上槇町　萬年社　電話本局一一一五

正四位勳三等醫學博士三宅秀先生著

大日本女學會發行（日本女子大學校教科書）

家事衞生

此書は文部省學校衞生顧問內務省中央衞生會委員元醫科大學部長なる三宅博士が文部省の囑託により講義されたるものなり書中に衣服食物住居育兒看病の五編ありて我國一般の民度に應じ何れの家にても實行に差支なき樣懇切に說示されたる世に類なき家庭主宰者の寶典なり

總クロース綴ぢ金文字入り菊判二百四十頁定價金六十錢郵税金六錢

◉賣捌所　東京神田區一橋通町七　有斐閣

坪內文學博士閱校

通俗世界文學

全部五十冊　毎冊正價廿錢●六冊壹圓拾四錢●十二冊貳圓廿貳錢●廿五冊四圓六拾錢●五十冊九圓●郵税毎冊六錢

發兌元　東京神田裏神保町　冨山房

定價　壹袋壹錢　鑵詰五錢

（電話下谷二三四番）

明治三十六年十一月十日發行（毎月十日廿五日二回）
發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會內
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第四十一號附錄

明治三十六年十一月十日發行（每月十日二十五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

愛國婦人會靜岡縣支部幹事會寫眞
（本紙記事參照）

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　大日本女學會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

總　裁　小松宮頼子殿下

副總裁　鍋嶋侯爵夫人

推薦贊成員

有栖川宮大妃董子殿下
東伏見宮妃周子殿下
華頂宮妃經子殿下
梨本宮妃伊都子殿下

其他贊成員貴婦人一百餘名

大日本女學會

新學期を開き何人にても入會を許す

◎本會は女子教育の普及發達を圖らむ爲に女子必須の諸學科を掲けたる女學の講義錄を發行し種々の障碍の爲に女學校に入學すると能はざる女子に居ながら修養を積ましめ以て一般女子の地位を高めん事を目的とす

◎本會發行の女學講義は畏くも　皇后宮の御覧を辱うし殊に御歌下賜の光榮を擔ふ

◎本會は第一流の名家をすぐりて講義を囑託し其講義有益にして趣味に富めるは既に世の定評ある所にして明治二十八年創立以來已に貳萬五千人の講習修了者を出せり

◎女子素養の程度に應ぜん爲講義錄を高等と簡易との二種に別つ月謝は高等科金四拾錢簡易科金貳拾錢とし入會の節束脩（高等科四拾錢簡易科貳拾錢）を要す

◎女學講義初卷前期は十一月五日に後期は同廿五日に發行す詳細なる會則希望者は端書にて請求あり次第送呈すべし

東京市麹町區下二番町卅七番地　**大日本女學會**
（電話番町千三百三十番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN